

# 総代会制度と総代の選任について ～総代会機能をご理解いただくために～

## 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任及び総代選考委員の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選定する総代選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、総代懇談会やお客さまアンケートなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

## 総代とその選任方法について

### (1) 総代の任期・定年

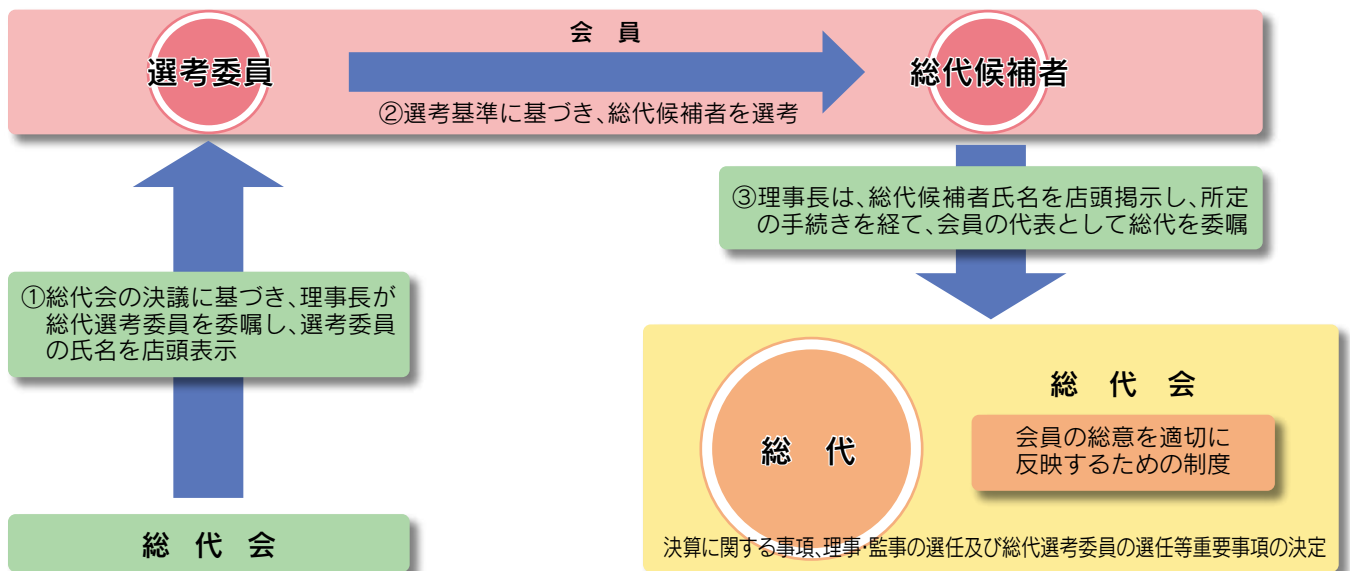
- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の重任は妨げません。
- ・総代の定年は満80歳です。但し、任期の途中で年齢が80歳に達した場合は、その任期の満了をもって終わるものとします。
- ・総代の定数は70人で、会員数に応じて各選任区域毎に定められております。なお、平成30年3月末現在の会員は11,638人で、平成30年6月末現在の総代数は68人です。

### (2) 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準（注）に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③その総代候補者を会員が信任する。（異議があれば申し立てる）

## ◎総代会は会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



### 注 ▶ 総代候補者選考基準

- ①資格要件
  - ・当金庫の会員であること
- ②適格要件
  - ・総代としてふさわしい見識を有している者
  - ・良識をもって正しい判断ができる者
  - ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者
  - ・その他総代選考委員が適格と認めた者

### ▶ 会員の資格

- ①当金庫の地区内（北上市、花巻市（旧稗貫郡大迫町及び石鳥谷町を除く。）、奥州市（旧胆沢郡前沢町、胆沢町及び衣川村を除く。）、和賀郡西和賀町、胆沢郡金ケ崎町に住所または居所を有する者
  - ②当金庫の地区内に事業所を有する者
  - ③当金庫の地区内において勤務に従事する者
  - ④当金庫の地区内に事業所を有する者の役員及びこの金庫の役員
- ただし、①または②に該当する個人にあっては、常時使用する従業員の数が300人を超える事業者を除く。また、①または②に該当する法人にあっては、常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、資本の額または出資の総額が9億円を超える事業者を除く。
- なお、会員は出資1口（出資1口の金額500円）以上を有し、出資額は5,000円以上でなければならない。